

大会レギュレーション

2016/12/30

人数規約

参加者

大会は参加者が4人以上の場合のみ成立します。

審判

大会には最低1人の審判が参加者とは別に必要です。

但し、参加者がちょうど4人となる場合に限り、審判は参加者を兼ねても構いません。

大会形式

運営方法

大会の形式は原則的にスイスドローとなります。スイスドローについてご存じない場合は、以下のアドレスをご参照ください。

<https://ja.wikipedia.org/wiki/%E3%82%B9%E3%82%A4%E3%82%B9%E5%BC%8F%E3%83%88%E3%83%BC%E3%83%8A%E3%83%A1%E3%83%B3%E3%83%88>

但し、参加者の人数が少ない場合は総当たりとしても問題ありません。

決闘ルールと修練ルール

大会では原則的には決闘ルールが使用されます。但し、初心者に向けた大会では修練ルールを使用しても構いません。

使用できるカード

初版のみに含まれるカードは使用できません。また、初版と第二幕で内容が異なるカードは、第二幕の内容に準拠します。

参加者の持ち物

参加者は以下のもの全てをご持参頂く必要があります。

- ボード2枚
- 桜花結晶32個
- 集中力カード1枚
- 自分が使用する2柱のメガミのカード全て

(主催者側が用意できる場合は、申込に際してコメントに特記してください。公式大会では、ボードと桜花結晶は大会側が用意します)

試合中のルール

双掌繚乱のルール

メガミの選択は以下のいずれかとします。基本的には通常選択を推奨します。

通常選択

大会の受付時にメガミ2柱を申請します。そして、大会中は常にその2柱を使用します。1試合1回勝負です。

随時選択

大会の試合ごとにメガミを選択します。双方のプレイヤーは秘密裏に選び、同時に公開します。1試合1回勝負です。

三拾一捨

大会の受付時にメガミ3柱を申請します。双方のプレイヤーは各試合でそれらの3柱を対戦相手に渡します。次に対戦相手から受け取ったタロットから1柱を取り除き、対戦相手へと返します。

そして、自分へと帰ってきた2柱を使用します。（注意：このルールは上級者向けです）1試合1回勝負です。

神話大戦

大会の受付時にメガミ6柱を申請します。双方のプレイヤーはそれらの6柱から2柱を秘密裏に選び、同時に公開します。そして眼前構築と桜花決闘を行います。

その決闘の勝者は使用した2柱を取り除きます。結果、一方が4柱、もう一方6柱を持った状態になります。続けて双方のプレイヤーは残るメガミから2柱を秘密裏に選び、同時に公開し、同様の決闘を繰り返します。

最終的に、先に3勝し、全てのメガミを取り除いたプレイヤーが勝者となります。

（警告：このルールは超上級者向けであり、1試合が最大で3時間程度かかります）

試合時間のルール

1試合の時間は40分で、眼前構築5分と、桜花決闘35分となります。

初心者に向けた大会では眼前構築の時間を延ばし、8分程度とすることを推奨します。

眼前構築が残り1分となった時点と、桜花決闘が残り10分となった時点で、審判はアナウンスを行うことが推奨されます。

時間内に眼前構築が終わらなかった場合、使用しているメガミ2柱のカード全てを合わせ、その中から無作為に7枚の通常札と、3枚の切札が選ばれます。

時間内に桜花決闘が終わらなかった場合、現在進行中のターンの次のターンまで行い、その時点でライフの多い方が勝者となります。同値の場合は引き分けとなります。

試合前または試合開始から5分以内に限り、審判は特定の試合を時間無制限としても構いません。その際には、その試合に参加しているプレイヤー双方の合意を取ることを推奨します。

試合中に見られるもの

本品に封入されたカードリストを除き、試合中にメモを見ることは認められません。審判の立会いの元であれば、正確なカードテキストを参照するために Web サイト上のカードリストを見ることが認められます。

反則、非紳士的行為への罰則

大会の審判はゲーム中の不当な操作、不当な遅延行為、非紳士的行為に対して、注意ならびに独自の裁定によるゲームへの操作を行うことができます。あるプレイヤーが複数回の注意を受けても改善されない場合、審判はそのプレイヤーを敗北させることができます。